

2010.1.15

Contents

対談 今の家族の姿と
これからの暮らしキニナルマドリ
住まいは集まり
住まい文化の葉
HABITable
HABITAな風景
住健住康
Green Earth
5th RoomWeekly
HABITA⁰¹⁹

今、家族が実際にどのように暮らしているのか、新しい変化が注目を集めています。たとえば、時代が変われば、人々の行動やコミュニケーションの形も変わります。当然、人と人とのつながりの原点でもある家族の姿にも大きな影響を及ぼすことになります。住まいづくりや街づくりと言うのも、こうした家族の姿の変化によって、少しずつ理想の姿も変わってゆくことでしょう。そこでマーケティング・プロデューサーの谷口正和氏と、MISAWA・international 社長三澤千代治に、これからの暮らしのあり方について、現在のライフスタイルの傾向を踏まえながら話し合ってもらいました。

▶「おうちコンセプト」

三澤 昔に比べて家族は変わりましたよね。主婦も主人も変わってきたと思います。特に男性の場合は、会社が終身で責任を持たなくなったので、仕事より家庭が大事という考え方が増えてきています。女性の方は逆に社会に進出している。

谷口 二人で稼ぐのが当たり前の時代になって、男性の稼ぎだけでは濟まなくなってるんですね。だから、お互いの少ない収入をシェアして一緒に

やっていく。そんな中、お金で解決するのではなく自分たちの中で解決していく傾向が出てるんです。

三澤 自分たちで解決するとは？

谷口 僕は「おうちコンセプト」と言ってますが、おうちでパーティーとか、おうちで学校とか、おうちでごはんとか、つまり今まで外で体験してきたことを家の中で楽しく体験したいという傾向が増えてきてるんです。たとえば、友達を呼んで家



でパーティーをすると、食前酒は何にする？とか、デザートはこれにとか。自分たちの経験がそこに活かされたり、または新しい発見があったり、しかも外で食べるより圧倒的に安くできるんです。家で何かをしたいというのは結局、何かを学びたいということであって、インテリアなどもただ買って置くだけでなく、古い椅子を買ってきて綺麗に塗るとか、洋服も安い古着を買ってきて自分で染め直したりボタンを付けたり刺繍をするとか、何でも自分でやりたいって傾向が増えてるんですね。

谷口正和 [たにぐちまさかず]

マーケティング・プロデューサー
立命館大学大学院経営管理研究科教授。
1942年京都生まれ。

生命、生活、人生の在り方を問う「ライフデザイン」を企業理念そのものとし、地球と個人の時代を見据えて常に次なる価値観のニューモデルを提示し続ける。コンセプト・プロデュースから経営コンサルティング、企業戦略立案、地域活性化計画まで幅広く活動。

日本デザインコンサルタント協会・諮問幹事、日本デザイン機構・理事、京都ブランド研究会・座長、東京都市大学・都市生活学部 客員教授を務める。

対談 今の家族の姿と
これからの暮らし

マーケティング・プロデューサー 谷口正和

MISAWA・international社長 三澤千代治

三澤 本が好きな人はホームライブラリーを作ったり、絵が好きな人はホームギャラリーに飾ったり。そういう趣味が本当に求められる時代になってきたんですね。

谷口 そういうことです。いい意味で成熟してきました。新品を買わず中古を買って、創意工夫してオリジナルを作る。家庭菜園でもたとえばハーブを育てて自分たちで化粧品を作るとか、野菜を収穫したあと漬物を作るとか、生活の中で創造力を発揮するそんな「ホームクリエイター」が増えてきてるんです。

▶クラブ・リビング

三澤 男は仕事をほったらかして、家の中で別に变なことをしていたわけではないんですね(笑)。

谷口 いい意味で旧来の仕事の量が減って所得も減っているわけですから、なるべく工夫して暮らしたいとい

う気持ちが強くなっているんでしょう。昨今、女は肉食、男は草食とかいわれてますが、これは極端にいうと男も女も真ん中に寄ってきて、第三の性みたになってきているんです。家で洗濯や子育てするのが好きな男というのが草食男子っていわれてるんですよ。



三澤 女性も家に帰って仕事をする。自分の机があってパソコンがあるわけです。逆に男のほうも、男性用の化粧品を揃えている。おもしろいですね。

谷口 それぞれシングルユースで一緒に暮らしている。「クラブリビング」という概念だと思います。子供がいなくてもいいじゃないかっていうのがあって、長年子供が増えないのもそれが原因の一つだと思います。

三澤 家族の関係の変化について、HABITAグループでも研究しています。こうした生活感覚を持たれている家族のあり方とは何かとか。

谷口 シングルライフの人が増えてますが、最後はどうしたいのか聞くと、共通の趣味を持つ仲の良い友達と一緒に暮らしたいと答える人が多いんです。それってクラブ活動みたいですよ。好きなことが真ん中にあって、集まるわけですから。そうすると、たとえば畑が好きな人は、畑のまわりに集まって住む。それはクラブ活動的なファミリーですから、これを「クラブリビング」と言ったらどうでしょうか。

2人の対談は2面へつづく

住まいづくりにちょっと役立つドキュメントTV

HABITA/TV

この対談の様子・詳細は、
HABITA/TV 5ch「住まいづくりの話」で
ご覧いただけます。

MISAWA international

HABITA/TV

検索